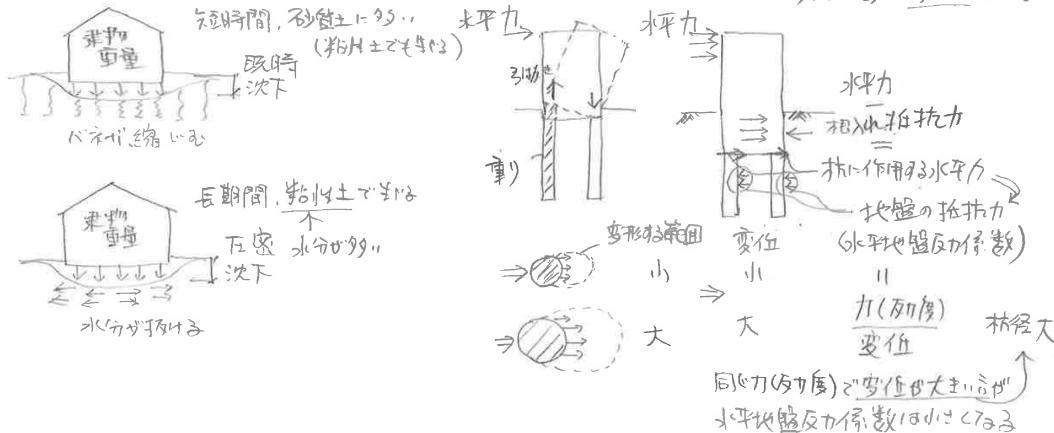


## 令元年No.21 直接基礎及び杭基礎の設計

- 既設時沈下とは、力によるばねの弾き戻り、載荷後短時間に発生する沈下→彈性体(ばね)として扱める。
- 杭の引抜き抵抗力とみ、建物が転倒する時の重りの役割り→杭の重量に相当する。
- 杭に作用する水平力とみ、地盤に作用する建物のゆがみ方に伝わり生じる力→基礎の陷入量に比例する。
- 水平方向地盤反力係数とみ、地盤の水平方向のばね→杭径大きいほど変形の範囲が入る、係数は小さくなる。



## 令元年No.22 プレストレスコンクリート構造

- 压着方式とは 部材どうしをプレストレスの圧縮力により結合→摩擦力で伝達
- 定着部とは PC鋼材端部を留められ、圧力により部材に圧縮力を導入→接触面積を大きくする
- ポストテンションとプレテンションとは コンクリート打設の後に(ポスト)引張るか、前に(プレ)引張る  
→ PC鋼材の劣化防止のためグラウトで保護→防錆材に取り換える
- プレストレスサバリーアークションとは PC鋼材の引張力は時間とともに抜けてくる  
→ プレストレスサバリーアークション ← (一定以上の引張力が低下する現象) ←

